

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 24 日

福岡県知事 殿

提出者

東京都中央区

住 所

八重洲2丁目2番地1号

三井化学株式会社

氏 名

代表取締役 橋本 修

電話番号 03-6880-7500

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

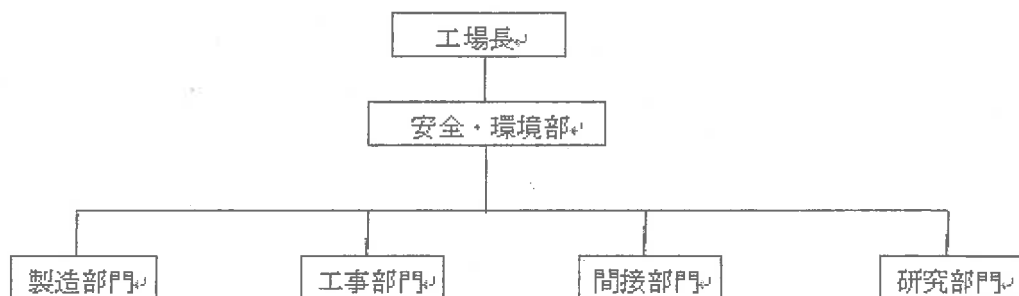
事業場の名称	三井化学株式会社大牟田工場
事業場の所在地	福岡県大牟田市浅牟田町30番地
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	E. 製造業
② 事業の規模	資本金 125,738百万円
③ 従業員数	685
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	・製造現場、研究他 汚泥、廃油、廃酸、廃711、特定有害廃棄物（PCB、水銀）、感染性廃棄物、廃石綿類→中間処理業者に委託し処理

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特管汚泥	特管引火性廃油
	排出量	368 t	4,276 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃酸	特管廃アルカリ
	排出量	4 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管PCB汚染物	特管感染性廃棄物
	排出量	2 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃石綿	特管廃水銀等
	排出量	0 t	1 t
	特別管理産業廃棄物の種類		
排出量	t	t	
特別管理産業廃棄物の種類			
排出量	t	t	
(これまでに実施した取組)			
・廃油：切替洗浄効率（洗浄回数削減）、再利用による排出量削減			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特管汚泥	特管引火性廃油
	排出量	3,300 t	3,000 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃酸	特管廃アルカリ
	排出量	2 t	3 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管PCB汚染物	特管感染性廃棄物
	排出量	5 t	1 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃石綿	特管廃水銀等
	排出量	1 t	1 t
	特別管理産業廃棄物の種類		
排出量	t	t	
特別管理産業廃棄物の種類			
排出量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			
・廃油：切替洗浄効率（洗浄回数削減）、再利用による排出量削減継続			

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、特定有害廃棄物（PCB）、特定有害廃棄物（水銀）、感染性廃棄物、廃石綿類に分別。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、特定有害廃棄物（PCB）、特定有害廃棄物（水銀）、感染性廃棄物、廃石綿類に分別継続。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度（令和 6 年度）実績】	
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	特管汚泥	特管引火性廃油
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃酸	特管廃アルカリ
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管PCB汚染物	特管感染性廃棄物
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃石綿	特管廃水銀等
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特管汚泥	特管引火性廃油
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃酸	特管廃アルカリ
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管PCB汚染物	特管感染性廃棄物
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃石綿	特管廃水銀等
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	
特別管理産業廃棄物の種類			
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特管汚泥	特管引火性廃油
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃酸	特管廃アルカリ
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管PCB汚染物	特管感染性廃棄物
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃石綿	特管廃水銀等
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	t	t	
特別管理産業廃棄物の種類			
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	
ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	t	t	
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特管汚泥	特管引火性廃油
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃酸	特管廃アルカリ
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管PCB汚染物	特管感染性廃棄物
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃石綿	特管廃水銀等
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	t	t	
特別管理産業廃棄物の種類			
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	
ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の	t	t	
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

【前年度（ 6年度）実績】			
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	特管汚泥	特管引火性廃油
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃酸	特管廃アルカリ
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管PCB汚染物	特管感染性廃棄物
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃石綿	特管廃水銀等
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
【目標】			
②計画	特別管理産業廃棄物の種類	特管汚泥	特管引火性廃油
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃酸	特管廃アルカリ
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管PCB汚染物	特管感染性廃棄物
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃石綿	特管廃水銀等
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

		【前年度 (6年度) 実績】			
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	特管汚泥	特管引火性廃油		
	全 処 理 委 託 量	368 t	4,276 t		
	優良認定処理業者への 処理委託量の	0 t	0 t		
	再生利用業者への 処理委託量の	0 t	946 t		
	認定熱回収業者への 処理委託量の	0 t	0 t		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処理委託量の	0 t	0 t		
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃酸	特管廃アルカリ		
	全 処 理 委 託 量	4 t	0 t		
	優良認定処理業者への 処理委託量の	0 t	0 t		
	再生利用業者への 処理委託量の	0 t	0 t		
	認定熱回収業者への 処理委託量の	0 t	0 t		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処理委託量の	0 t	0 t		
	(これまで実施した取組) 廃掃法に従い、適正な産廃委託業者を選定し、書面による委託契約を締結するとともに、社内計画に基づき、委託処理先の現地確認および与信管理を実施している。				
	②計画	【目標】			
		特別管理産業廃棄物の種類	特管汚泥	特管引火性廃油	
全 処 理 委 託 量		3,300 t	3,000 t		
優良認定処理業者への 処理委託量の		0 t	0 t		
再生利用業者への 処理委託量の		0 t	1,000 t		
認定熱回収業者への 処理委託量の		0 t	0 t		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処理委託量の		0 t	0 t		
特別管理産業廃棄物の種類		特管廃酸	特管廃アルカリ		
全 処 理 委 託 量		2 t	3 t		
優良認定処理業者への 処理委託量の		0 t	0 t		
再生利用業者への 処理委託量の		0 t	0 t		
認定熱回収業者への 処理委託量の		0 t	0 t		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処理委託量の		0 t	0 t		
(今後実施する予定の取組) ・引き続き、委託処理先の現地確認および与信管理を継続する。					

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

【前年度 (6年度) 実績】			
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	特管PCB汚染物	特管感染性廃棄物
	全 処 理 委 託 量	2 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃石綿	特管廃水銀等
全 処 理 委 託 量	0 t	1 t	
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	
再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	1 t	
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	
(これまで実施した取組) 廃掃法に従い、適正な産廃委託業者を選定し、書面による委託契約を締結するとともに、社内計画に基づき、委託処理先の現地確認および与信管理を実施している。			
【目標】			
②計画	特別管理産業廃棄物の種類	特管PCB汚染物	特管感染性廃棄物
	全 処 理 委 託 量	5 t	1 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	特管廃石綿	特管廃水銀等
全 処 理 委 託 量	1 t	1 t	
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	
再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	
(今後実施する予定の取組) ・引き続き、委託処理先の現地確認および与信管理を継続する。			

電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和 6 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	4649 t
	(今後実施する予定の取組等)	
※事務処理欄		